

平成21年度第1四半期(4~6月)見通し

<工務店での需要予測>

前回調査(平成20年度第4四半期)は過去最低のマイナス65.7ポイントであった。調査結果の通り市況は厳しく需要は低迷し、業界では住宅会社の大型倒産もあり、日本のGDPも三・四半期連続でマイナスとなり、政府の景気判断も「急速な悪化が続いており厳しい状況にある」とコメントしているように、依然停滞前線は長引いている。

さて今回の調査であるが、前回のワーストから少しでもポイントの回復を期待したが、2,919件のアンケートの結果マイナス77ポイントで前回の調査から更に11.3ポイントダウンしてワースト更新となった。

地域別に見ると、全国どこの地域も70%以上が減少回答で、特に80%以上の減少回答が北海道・東北・甲信越・北陸・中国と非常に厳しい結果が出ている。

一昨年同期と比較すると63.6ポイントの大幅ダウンとなり、第1四半期の需要は予想以上に厳しく予測する。

<主要メーカーによる販売予測>

新設着工数で左右される合板・木質建材・窯業・断熱は大幅な減少回答。住設機器は悪いながらも増加回答が12.5%あり、増改築・リフォーム中心に期待したい。

合板	： 増加回答	2.2%	前年並回答	6.7%	減少回答	91.1%
木質建材	： 増加回答	2.2%	前年並回答	7.9%	減少回答	89.9%
窯業・断熱	： 増加回答	0%	前年並回答	6.5%	減少回答	93.5%
住設機器	： 増加回答	12.5%	前年並回答	26.2%	減少回答	61.3%

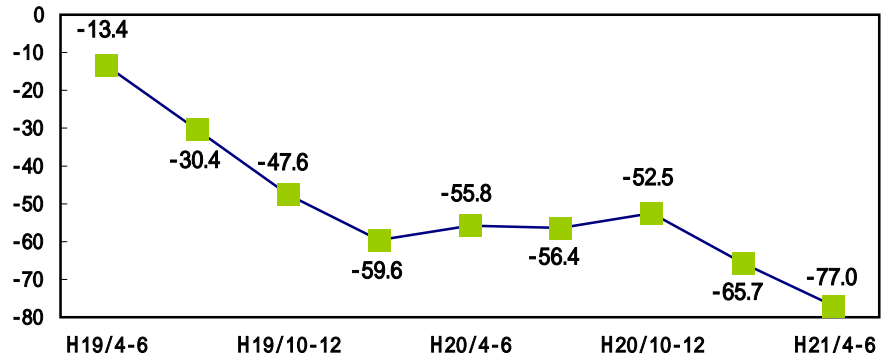
<リフォームの現状>

工務店における月平均のリフォーム件数は10物件以内が64%、11~20物件が25%となった。1物件あたりの売上は50万円以内が30%、51~100万円以内が41%、合わせると全体の7割になりリフォームにかかる金額は100万円以内までが最も多い。住宅リフォーム市場は新設着工が好調だと市場が減少し、新設着工が減少すると市場が伸びると言われる。今がその状況であり、底堅い需要はあると予測する。

景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

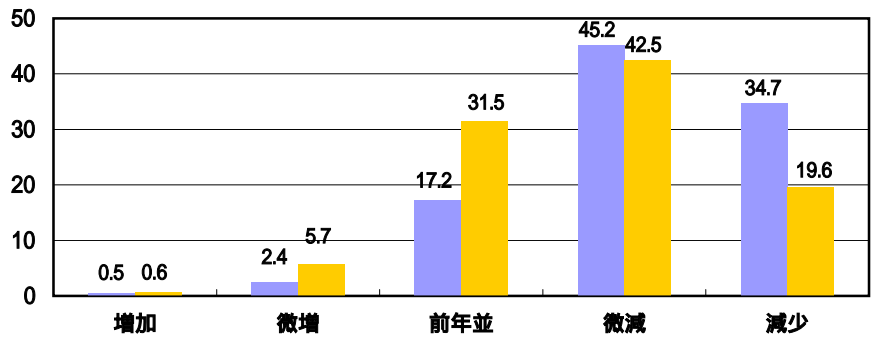
ポイント



地域別需要予測

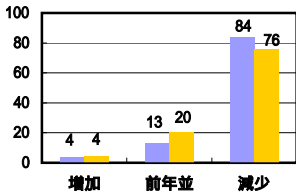
全国 回答数 2,919

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中から選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

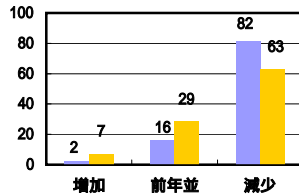


■ 平成21年度 第1四半期
■ 平成20年度 第1四半期

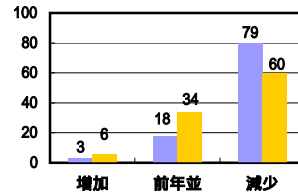
北海道



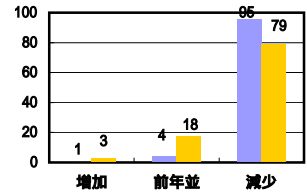
東北



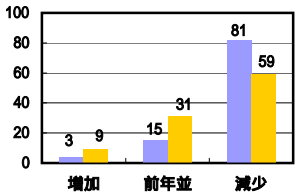
関東



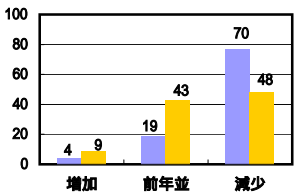
甲信越



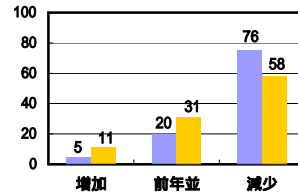
北陸



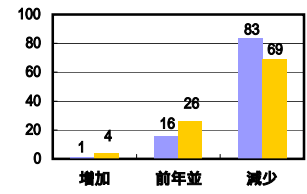
中部



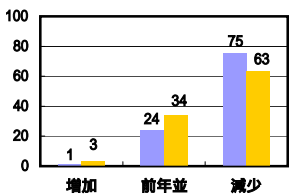
近畿



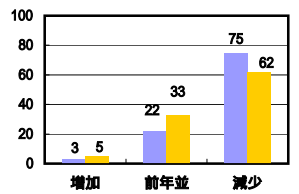
中国



四国



九州



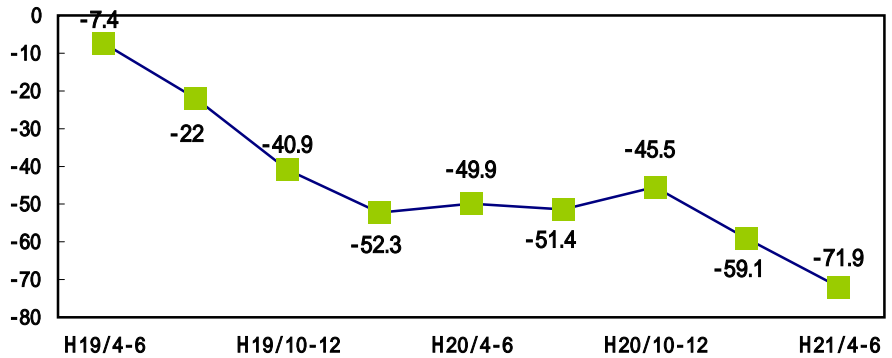
<有効回答数>

北海道	194	中国	185
東北	290	四国	76
関東	996	九州	351
甲信越	198		
北陸	59		
中部	214		
近畿	356		

景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

ポイント

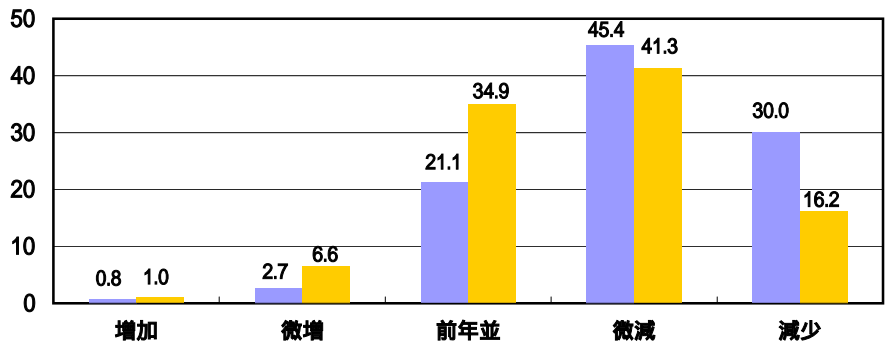


地域別需要予測

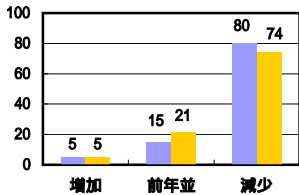
全国 回答数 2,930

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

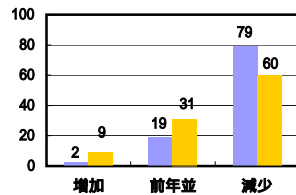
■ 平成21年度 第1四半期
■ 平成20年度 第1四半期



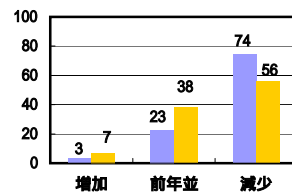
北海道



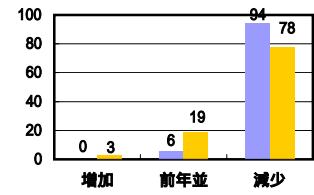
東北



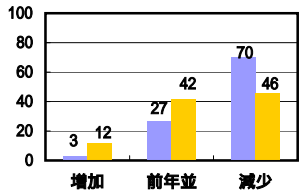
関東



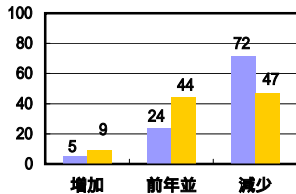
甲信越



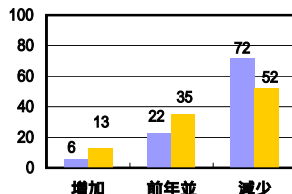
北陸



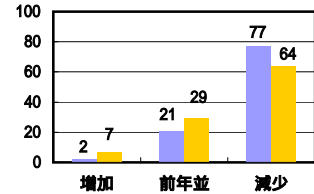
中部



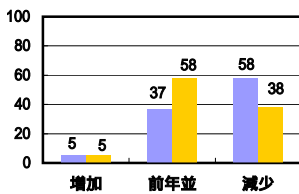
近畿



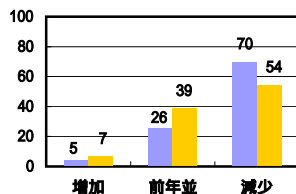
中国



四国



九州



<有効回答数>

北海道	194	中国	187
東北	290	四国	76
関東	1,000	九州	353
甲信越	199		
北陸	60		
中部	214		
近畿	357		